

## 北海道方面

### 旭橋工事竣功近し

北海道地方費道、旭川稚内線、旭川市内の旭橋は百萬圓の豫算で去る昭和四年十一月に起工以來滿三年の日子を経茲に見事な姿を師團の前方に出現するに至つた。本橋工事と共に附近河川敷の整理も行つたので先頃の北海道大水害にも此の附近は其慘禍を免がれ得たのである、旭川市では協賛會を組織して開通式當日は意義ある諸種の催しを舉行するといふ。

地方通信

### 室蘭ドライブ道路

室蘭測量山公園の林間道路は曩に室蘭管林署で遊覽者の利用上に利便を認めて幾分の斧鉞開鑿を加へたこともあるが、何分にも山間で路線等も改築の必要に迫まれ市當局も昨夏以來之が改良計畫を樹立したのであるが、市財政不如意のため、遷延して市民の齊しく遺憾として居た所であるが、今回須山管林区署長は地方民の期待に添ふべく道廳當局とも打合せの上、更に管林区署長會議に出席して之を具申の結果愈々正式に着手認可となつたので、茲に時勢に適するドライブウェイ開鑿を決定することゝ

## 東 北 方 面

### 時局匡救道路工事

なり室蘭市清水町奥通升一濱より小橋内町を経て延長千三百間、幅員二間半で十一月一日かから着手し降雪期以前に基礎工事を完了せしむる豫定である。

青森、岩手、宮城三縣下に於ける時局匡救道路工事は、現在頗る順調に進捗して居るが、同地方は寒雪期早きため急速に竣工せしむる必要あり、爲めに坂本内務省出張所長を始め伊藤宮城縣土木課長、上野岩手縣土木課長、三浦青森縣土木課長は各其の管内を巡視して數箇以上十數箇所の責任區劃を定め、各其の區域内の工事主任は責任を以て期間内に竣功せしむる事になつた。

### 匡救土木工事視察

東北六縣は寒雪期早く工事期間少なき爲め匡救工事の進行に就ては一般から憂慮さ

れて居るが、曩に宮城縣では道路講習會を開催して之れに對する豫備的知識を與へ頗る好成绩を擧げつゝあるが、山本内相、唐澤土木局長は東北各縣知事を仙臺に招集し、時局匡救土木事業に關する實際的指示打合せの爲め十八日入仙、大體道路の問題等は地方振興上に重大關係を有するも從來大臣自身督勵に出掛けた例は尠いのであるが、非常時局匡救のため萬難を排して今回の如き事業を起工したのであるから、それに對する政府の責任も亦非常に大なるを痛感し、其れが如何に行はれて居るか、工費に適應する効果を擧げ將來を益するものかどうか調査して機宜の指示をなす爲め十九日午前中は諸工事を視察し石ノ巻町日和山にて晝飯、午後は鹽釜神社に參拜し歸途は仙臺道路を自動車で視察しながら午後三時宮城縣廳に歸着し各縣知事以下引見の上各管内の工事狀況等に就て聴取し夫れ々熱心に指示して山本内相は二十日仙臺發歸京の途に着いた。

### 東北の振興土木事業

青森、岩手、秋田、山形四縣知事は十月十九日仙臺に集まり、來仙中の山本内相に各自所管内の時局匡救事業狀況を報告した事は前項に記してあるが、青森縣では府縣道工事費三十萬圓、市町村工事費百四十三萬圓、飛行場設置依託工事費十八萬圓此の外に農林省關係の分が六十萬圓といふ振興事業であつて、既に全線に亘つて工事中である、早いのは完成の域に達して居るものもある。岩手縣下地方振興の土木工事箇所は四百八十五箇所、五百二十二萬圓に達して居る、同縣は其の面積日本一といふ廣さを有するので、土木工事出張所を増加して各主席者に責任を以て事業を完成するやう組織して銳意進捗を計つて居るから縣下到處相當に活氣づいて居る。秋田縣の土木匡救事業費は三百五十萬圓で着手した所は活氣づいて居る。山形縣の町村工事箇所二百十二ヶ村中で百九十箇所からは既に

補助の申請があり、降雪期以前に工事を完了する豫定である、但し工事の都合で樹木敷箇所は明春一月頃になるかも知られぬ、また縣營工事は二百八十三箇所でも大半着手し失業者の救済に効驗して居る。

### 北陸方面

#### 手取川橋の開通式

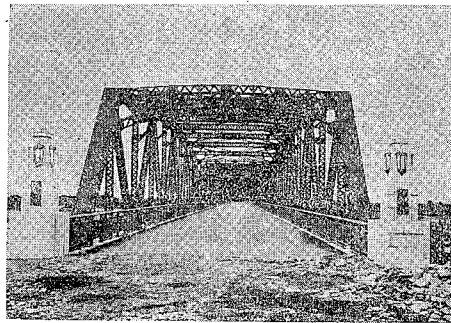
前田百萬石の舊領で靈峰白山と手取川とは山と川との兩横綱である、手取川橋の架設地點は北陸道路の大幹線たる國道十二號線中能美郡栗生村地内で舊橋は明治四十三年改築せられ栗生の大橋と近隣に喧傳せられたものであるが、輻員の狹隘と材質の腐朽甚しく近代高速重量の交通に堪へ難くなつたので架換を行つたものである、新橋の構造等に就ては前號口繪説明欄に詳細記載の通り結構壯雅北陸幹線國道の交通に資する事多大なものであらう、開通式は十月二日午前十時橋上で嚴肅に執行された、當

日早朝より神官等の奉仕で橋上隈なく清められ定期に至るや奏樂神々しく降昇神の御儀あり齋主、山口知事、内務大臣代理澤事務官、道路改良會長代理都筑幹事、中村石川縣内務部長、大石土木課長、關戸縣會議長、貴衆兩院議員、金澤市長、大串高等工業教授、淺井同縣町村長總代、森地元村長、協賛會長順次玉串を奉奠して神事を了し、次で神官の先行にて知事、内務大臣、道路改良會長、縣會議長に次で當日の呼びものたる芽出度き三夫婦靜かに歩を運ぶ、舊橋上の群衆、磧塊を埋むる數萬期せずして萬歳を叫ぶ、中村内務部長、大石土木課長は舊橋上の群衆荷重危險に瀕するを見、消防隊に命じて順次通行せしむる等容易ならざる人出に露店商の如き孰れも利潤に浴した、斯くて通り初めも盛況裡に終へ、次で橋畔の協賛會祝賀揚の天幕内で大門字町多和田奴以下多數校書の心からなる幹旋あり萬歳聲裡に午後二時散會したが新橋見物の群衆は黄昏まで大賑ひであつた、

地方通信

式 驗

手取川橋架換工事竣功シ技ニ本日ヲ以テ  
開通ノ式ヲ舉クルニ方リ多數貴賓ノ貴臨ヲ  
得タルハ洵ニ欣幸トスル所ナリ抑々本橋ハ



正面より見たる手取川橋

國內交通ノ重要幹線タル國道拾貳號線中縣  
下第一ノ大河タル手取川ニ架ルモノニシテ  
實ニ交通上重大ナル使命ヲ帶フルモノナリ  
然ルニ架設以來年ヲ閱スルコト二十有餘年  
橋體ノ腐朽甚シキニ加へ幅員狹隘ニシテ構

造亦古ク現代交通ニ適應セサル爲交通運輸  
上常ニ支障尠カラサルモノアリ縣ハ此ニ鑑  
ミ架換ノ計畫ヲ樹テ昭和三年縣會ノ議決ヲ  
經國庫補助ヲ受ケテ昭和五年十月工ヲ起ス  
ニ至レリ爾來銳意工程ノ進捗ヲ努メ年ヲ經  
ルコト二ケ年有餘茲ニ全ク竣功ヲ告ク結構  
敢テ善美ヲ盡セリト謂フ能ハサルモ堅牢壯  
大ナルコト實ニ縣下ニ冠絶ス惟フニ本橋ノ  
開通ニ依リ交通運輸ニ新紀元ヲ劃シ地方ノ  
發展開發ニ將亦國運興隆ニ寄與スル所鮮少  
ナラサルヲ信シ洵ニ欣懷ニ堪ヘサルナリ希  
クハ宜シク本橋ヲ利用シ産業ノ開發文化ノ  
促進ニ資セラシムコトヲ一言以テ式辭トス  
昭和七年十月二日

祝 辭

石川縣知事 山口 安 憲

手取川橋架換工事其ノ功ヲ竣へ本日茲ニ  
開通式ヲ舉ケラル寔ニ欣慶ニ勝ヘサルナリ  
本橋ハ十二號國道中手取川ニ架設セラレ  
交通上極メテ重要ナル地點ヲ占ムルニ拘ラ  
ス舊橋ハ架設既ニ久シキニ及ヒ其ノ構造亦

現時ノ交通ニ適應セサルモノアリ縣當局曩ニ架換ヲ計畫スルヤ政府亦之ヲ助成シ今乃チ堅牢宏壯ナル新橋ノ成ルヲ見ル念フニ今後之ニ依テ交通更ニ一段ノ利便ヲ加ヘ地方ノ開發産業ノ進展ニ寄與スル所極メテ大ナルモノアルヘシ冀クハ將來之カ維持管理ニ努メ以テ長ヘニ其ノ効果ヲ完フセラレンコトヲ一言所懐ヲ述ヘテ祝辭トス

昭和七年十月二日

内務大臣男爵 山本 達雄

工專報告

手取川橋ノ開通式ニ當リ工事ノ概要ヲ報告セントス本橋ハ昭和三年十一月通常縣會ニ於テ國庫補助ヲ得總工費六拾貳萬圓四ヶ年繼續事業トシテ議決サレタルヲ以テ直ニ設計調査ニ着手シ昭和四年六月橋臺橋脚位置「ボーリング」ヲ行ヒ基礎安全ヲ確メ着々工事進捗ニ努メタリ偶々財界ノ不況ニ遭遇シ主要材料タル鐵材「セメント」等下落セシニ依リ昭和五年十一月參事會ニ於テ總工費四拾四萬七千五百圓ニ更正議決サレ

タリ而シテ橋梁工事中下部構造ハ昭和五年九月上旬構造ハ同年十月取付道路工事ハ昭和六年二月夫々請負ニ附シタリ

本橋ノ橋臺ハ扶壁付鐵筋混凝土造トシ杭打基礎ノ上ニ施工シ更ニ前面ニ木工沈床ヲ以テ根固ヲ施ス橋脚ハ基礎ヲ井筒トシ執レモ鐵筋混凝土造トナシ地盤下最小二十五尺最大三十尺ノ根入ヲ有ス上部結構ハ工費ノ節約ト四圍ノ調和外觀美トヲ考慮シ有効幅員二十四呎徑間百六十三呎四吋ノ「ワイル

昭和七年十月二日

石川縣土木課長 大石 巖

關東方面

戸田橋工事竣功近し

一吋半ノ瀝青乳劑ノ簡易鋪裝トシ本年六月橋梁全部ノ竣功ヲ見タリ之ニ要シタル主要材料等鐵材千四百三十四噸「セメント」五千八拾壹噸砂、砂利、碎石七百十七立坪花崗岩千七百五十五切ニシテ現場使役職工人夫延人員貳萬參百五十人ナリ取付道路ハ延長十町四十二間總幅員五間最小曲線半徑十間最急勾配三十分ノ一ニシテ橋梁暗渠ハ維持ト經濟的見地ヨリ悉ク鐵筋混凝土造トス

之ニ要シタル主要材料ハ鐵筋四十三噸「セメント」千四百四十一噸砂、砂利、栗石千二十八立坪野面石八百四十一面坪ニシテ盛土砂ハ河川敷ヨリ浚渫ヲ兼テ採取セシメ其量四千立坪使役職工人夫延人員七千七百九十五人ナリ而シテ本工事ハ昭和五年十月着手シ爾來進捗中ノ處工事順調ニ進ビ茲ニ竣功ヲ告クルニ至レリ右工事ノ概要ヲ述ヘテ報告トス

國道九號線東京板橋より志村を經て埼玉縣浦和に通ずる改良路線に起工以來三年の日子と九十萬圓の工費を要して架築中の戸田橋工事は殆んど完成し今やペンキ工と前後の取付道路工を急いで居る、開通式は十二月上旬舉行される筈である。

## 大垂見峠の改修準備

國道八號線、東京甲府間で富士見の勝地として夏季百日の間は、東京及び横濱より内外紳士の避暑客相次ぐ神奈川縣津久井郡千木良村の紅林ホテル加藤マネジャーは、東方は淺川や八王子、西方は小原町から與瀬や吉野へ通じて居るけれども、何分地勢が不利不便な所ゆゑ、今日尙ほ電燈なく石油ランプを使用して居る状態であるが、改修後は電燈配線があることゝ楽しんで居るといふ、斯の如く不便な所ゆゑ今回總工費五十三萬三千圓を以て大改築を斷行することになり、木津内務省横濱土木出張所長、祝井土木事務官一行は用地買収其他の準備に大童の活動を續けて居る、此の區間の新築造路線延長四百十六米五、舊路線改築延長壹萬壹千六百四十八米五、有効幅員八米、最急縱斷勾配十五分の一、最緩二分の一、最小屈曲半径二十米砂利敷となつて居るが何分にも山間急斜面の箇所ゆゑ舗裝でな

地方通信

れば路面の維持が困難であるから、此の機曾に混凝土で固めた方が有利であると一般から希望的陳情が殺到して居る。

## 熱海箱根間自動車道路

靜岡縣田方郡函南村熱海峠（府縣道熱海三島線分岐）より箱根峠（國道一號接續點）に至る延長九千五四三の間に駿豆鐵道株式會社で自動車専用道路を築造した。口繪の一は靈峰富士を望む大觀である、有效幅員は六米、最急勾配は二十分の一、最小曲線半径は四十五米、路面は砂利敷であるが基礎の沈下を俟つて舗裝することになつてゐる。工事費は用地買収費を除き二十二萬五千圓を費し、昭和七年八月五日竣功したものである。

## 東海方面

### 一宮の改良路線決定

愛知縣都計地方委員會は十月十九日左記九路線を決定した。

一、淺井街道南線 幅員十二間 城屋敷より米野に至る。

二、岩倉街道西線 幅員十二間 城屋敷より南流須ヶ流に至る。

三、上本町西線 幅員十二間乃至十八間 外橋吞、南塚越、新町、稻荷西、東峰ヶ尻

四、梅ヶ枝印田線 幅員十間乃至十五間 下片端、東片端、字下町。

五、馬引下橋線 幅員十間 和田橋、九品地、樂橋、北米野、東米野。

六、西一宮停車場線 幅員八間 上浦町天王前、西峰ヶ尻、東峰ヶ尻。

七、本町線 幅員六間乃至十二間 大門東、一宮字下片端。

八、岩倉街道東線 幅員十間半、南流字須ヶ流、一宮字五輪畑。

九、淺井街道北線 幅員十間半、一宮字米野より葉栗村大字佐佐原に至る右は

昭和七年度より同十三年度に至る八ヶ年

繼續事業である。

### 乗合自動車賃銀値下

道路の改良に従ひ乗車料金の値下げは到る處に實施されて居るが、愛知縣知多郡内海町に本社を置く知多自動車株式會社では十月二十日から、半田、内海間を直通とし、師崎、豊橋、武豊等も順次直通運轉とし乗車料金の大幅下げを斷行した、近距離の十錢區間が殆んど五錢となり、又十五錢の區間が十錢となり、五十錢の區間が三十錢といふやうになつた爲め從來の如く雨中に乗換等の不快も無く、却て以前より乗客多く頗る好成果を示して居る。

## 中國方面

### 神崎の道路事業決す

兵庫縣神崎の失業救済土木費補助工事は十三萬圓と決定したが内福崎町では山崎區千束より立石に至る約十五町六千圓（内務

省）（西谷區より姫ヶ谷に達する農作道六百圓（農林省）、春日前より七種靈山山門に至る約二十町千五百圓合計八千圓であつて、十二月一日起工二月二十日竣工の豫定である。又中寺村では土師、岩部線七百四間六千五百圓、溝口停車場溝口線五千圓等合計一萬七千圓で起工は同じく十二月一日竣工は二月十日の豫定である。

### 定屋橋の開通式

豊田郡長谷村から田野浦村に至る定屋橋は本年四月起工以來順調に進捗し、此の程竣工したので十月二十五日芽出度き開通式を舉行した、縣官以下三百名の來賓が列を正して通り初めを行ひ、餘興として餅撒、相撲、素人茶番、藝妓手踊り等ありて頗る賑つたが最初此處に橋を架けて庶民に便した田野村の双照院十世定屋和尚の頌徳碑を、此橋の袂に建設しやうと、有志等協議して居る。

### 廣島縣は自動車本位

匡救土木事業に關しては急速に實施するを要する性質上、縣當局では具體的計畫の樹立を急いで居るが、設計圖等の作製も既に大體完了し、五百餘箇所の道路工事中其の大半は實測も終つて居る、工事の方針としては自動車交通の利便と安全を主眼として、屈曲道路の矯正、坂路の平坦化を期して居る。

## 九州方面

### 福岡縣の頽齡橋梁

時局匡救や失業救済で縣下の道路改良は着々進捗して居るが、一方同下道路事業中橋梁は餘り省みられぬ感がある、自動車業組合の話では架替期に達せるもの約百橋、有効職員擴充を望まじきもの約百橋、合計二百橋と言ふことであるが孰れも小橋梁のみであるから工費は僅少のものであらうと

見られて居る、今回縣下の全橋梁に就て見るに鐵橋十六、鐵筋混凝土橋八百五十三、石橋二千二百四十四、拱橋二十八、木橋(土橋及び板橋)一千五百六十九、木造構桁橋三、合計四千七百十三橋に達して居る。

### 垂水橋の架橋地視察

山國川を隔つる福岡、大分兩縣民が多年の間待望して居つた垂水橋架橋地點につき田口大分縣知事は中里中津市長大坪中津署長の案内で、十月十九日其現地視察を行つた、此の地點は兩岸居住民の交通に緊密な關係を有し、殊に福岡縣南吉富村垂水の如きは架橋委員まで出來て居る由である。橋長は百三十七米、幅員五米の鐵筋混凝土橋で工費約二萬五千圓の豫定である。

### 竹田の稻荷橋開通式

年々十數萬の參詣者集ふ大分縣直入郡玉來町鎮座の扇森稻荷神社へ通ずる稻荷橋は昨年六月以來玉來商工會發起の下に同社信

仰者及畫聖竹田をはじめ直入等の畫風を慕ふ人々並に同郡出身の成功者に對し全國的に淨財を募集したる處忽ち數千圓に達したので、七月に起工以來町民の援助等ありて工事意外に進捗し、十月十五日竣工したので橋畔に於て二十日盛大な開通式を舉行した、式には各地から續々參集し、千餘名の來賓ありて午後一時羽田野玉來町長開式の辭を陳べ、神職等の奉仕にて山海の神饌を供へる等型の如く降昇神の儀、重なる參列者の玉串奉奠等滞りなく終了して一旦式を閉ぢ、次で芽出度き通り初めの儀に移る、

八十六歳の阿南爲五郎八十三歳の妻加賀相並びて靜々と歩を運ぶや橋下の群集期せずして萬歳を叫ぶ、參列者一同之に續きて通り初めの儀を了し、之より河川敷内の祝賀會は開かれ玉來檢番より大小五十餘の美女繰り出して數番の餘興あり盛會であつた、季節恰かも秋關で同地一帶綿繡美しく、林間に於ては大古を偲ぶ岩戸神樂あり、また劇場玉洗觀では道路に因む新派劇等ありて

一般民衆の心裡に好印象を與へ眞に實義ある催しであつた。

### 鹿兒島の救濟事業

鹿兒島市の本年度失業救濟事業は主務省の認可指令と共に總工費二十一萬圓、其内の負擔十四萬圓を起債に求め、天保山海岸の道路開鑿、護岸工事、住宅地建設、埋立工事等に着手、來春三月竣工の豫定である、使役する勞働者延人員は三萬八千人で、埋立工事の面積は五萬百七十五坪に達し、内宅地とするもの一萬八千八百十六坪、公園の敷地一萬四千八百八十八坪、新設小學校敷地六千六百二十五坪、八幡小學校敷地擴築八百五十坪、放送所敷地一千坪、道路八千坪等で理想的住宅地建設に伴ふ道路計畫として幅九間の幹線道路を十文字に設け幅四間の道路を東西に八線設くる豫定になつて居る。